



大粒系ブドウ「クイーンニーナ」

「クイーンニーナ」は、果皮が赤色の大粒系のブドウです(図)。

(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所が育成し、2011年に品種登録されました。

○交配は、「安芸津20号」×「安芸クイーン」です。

○開花期は、「ピオーネ」、「安芸クイーン」と同時期です(表)。

○収穫期は、「巨峰」、「ピオーネ」及び「安芸クイーン」より1週間程度遅いです。

○果房重は500g程度で、果粒重も約18gになります。

○果肉特性は崩壊性、糖度は19%、食味は良好です。

○ジベレリン処理により、無核化が可能です。



図 「クイーンニーナ」の果房

表 ブドウ「クイーンニーナ」の生育及び果実形質

品種名	開花盛期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色	果肉 特性	糖度 (%)	酸 (g/100ml)	含核数 (個/粒)
クイーンニーナ	5/29	9/2	495	17.8	赤	崩壊性	19.4	0.35	0.3
巨峰	5/25	8/28	403	13.8	紫黒	中間	17.5	0.55	0.6
ピオーネ	5/28	8/28	371	13.9	紫黒	中間	17.6	0.52	0.5
安芸クイーン	5/27	8/24	410	16.4	赤	中間	19.1	0.53	0.5

調査場所(期間): 農業技術センター果樹研究部(2005~2007年)

根域制限栽培

植栽年次: 2004年

崩壊性: 噛み切りやすい肉質のこと